小金井の明日をつくる会通信　vol.2　2017 年 2 月 5 日号

小金井の明日をつくる会　発行

市庁舎・福祉会館 問題 解決を目指して

44 歳・小金井育ち

沖浦あつし さんの政策とは？

小金井の明日をつくる会通信では、さまざまな小金井の課題解決を目標に、情報発信をしています。市政の現状、課題解決について沖浦あつしさんにお話を聞きました。

市役所庁舎の現状は？

現在、行政及び防災拠点である市役所本庁舎は築 50 年が経過しており、老朽化と耐震性が問題視されている状態です。25 年前に市役所新庁舎建設用の土地として蛇の目ミシン工場跡地（中町三丁目）を取得しましたが、長年の市政の迷走により今もなおこの用地に新庁舎建設は行われていない状況です。また、第二庁舎（市民課窓口のあるビル）は年間約３億円の賃借料を支払い続けており、全国でも稀にみる異常な状態です。この賃借料は、市の財政を圧迫している大きな要因となっています。2015 年 12 月の市長選では、市庁舎建設において同じ思いの西岡新市長（小金井二中の３歳上の先輩）が誕生しました。そして昨年 12 月には、市長報告にて平成 33 年度竣工を目指す方向性が示され、市役所新庁舎建設・新福祉会館建設がようやく現実のものになろうとしています。私は、賃貸庁舎反対の市民運動でデモの先頭に立った亡き母の想いを受け継ぎ、四半世紀もの間一向に進まなかった市庁舎問題解決への道のりを西岡市長とともに歩んでいく所存です。

2016 年 12 月、小金井の明日をつくる会事務所にて西岡市長と

▶ 市役所庁舎・福祉会館の現状と建て替え方針

本庁舎	築 50 年以上経過 耐震性に問題あり	第二庁舎	年間約 3 億円の賃借料※ 市財政を圧迫 ※建物＋駐車場＋共益費含む	福祉会館	2016 年 3 月閉館 代替施設は市内各地に分散

建て替え案その 1

本庁舎
第二庁舎
福祉会館
→ **市役所庁舎用地**
蛇の目ミシン工場跡地

↔

建て替え案その 2（西岡市長就任前の方針）

本庁舎
第二庁舎
→ **市役所庁舎用地**
蛇の目ミシン工場跡地

福祉会館 → 本町暫定庁舎用地

現在、市の方針は「ゼロベース」

集約・複合化？福祉会館は別の場所？皆さんはどう考えますか？

さらに

閉館した福祉会館・暫定施設対策の必要性

2016 年３月で閉館になった福祉会館に入っていた各機能、事業は、現在仮の場所に移転していますが、公民館、集会施設機能は現行の各公民館、集会施設を使用という対応になっています。利用者にとっては、施設が分散し、市全体としては不足気味であると言わざるを得ない状況です。そのため、現状よりもっと積極的な暫定施設対策が必要と考えます。例えば、中央線高架下、駅前などに暫定の公民館機能などを配置することで、旧福祉会館に集っていた人のにぎわいを復活させ、さらに駅周辺には宿泊施設を誘致するなど、ゆったり小金井ステイができる環境をつくることで周辺の商店街の活性化につなげることもできます。

スポーツと健康寿命促進

健康増進のためには、どの世代においても、習慣として継続的に運動することが大切です。季節ごとのマラソン大会の開催や、市民大会の個人種目を各年代別カテゴリーで表彰するなど、全ての年代の方々が目標を持って取り組むことができる運動意欲増進対策の推進が必要です。

子育て支援の対策は？

保育所の待機児童問題は子育て世代の方々の暮らしに直結する最重要課題です。単に保育所の「増設」を唱えるだけでなく、空き物件や賃貸アパートなどを活用するなど、事業者が保育所を短期間・低コストで設営しやすい環境作りが必要となってきます。